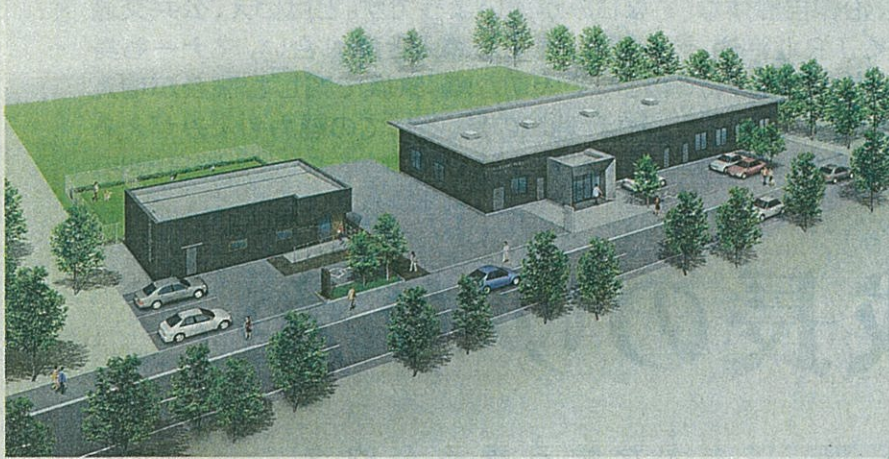


## 障害者を支援「南幌めぐみ学園」

# 職業訓練施設とカフェ新設



## ドッグラン用の芝生も

【南幌】町内の知的障害者支援施設「南幌めぐみ学園」を運営する社会福祉法人南幌苑は、同園南側に利用者の職業訓練施設とドッグラン併設のカフェを新設する。同法人の開設30周年記念事業で、総工費は3億5千万円で、自己資金で賄う。5月中旬に着工し、10月オープンを目指す。

(田中雅章)

## 10月オープン目指す

職業訓練施設「なんぼろ地域生活支援センター」とカフェ「わんだフルCAFÉ MEGUMI」は敷地4900平方メートルに建設する。既存の支援センターは築後40年以上たち、老朽化が進む。

新センターは鉄骨平屋570平方メートル。木材をふんだんに使い、温かい雰囲気だ。学園利用者が軍手などを作る作業室6室や事務室に加え、利用者の家族が宿泊できる和室1室を新たに設ける。

カフェ新設は利用者の雇用確保と地域貢献の一環。木造平屋115平方メートルで、

10月オープン予定の職業訓練施設(右)とドッグラン併設カフェの完成予想図

室内と屋外に計35席を設け、コーヒーやカレー、ソフトクリームなどを販売する。同園をはじめ、各地の授産施設の菓子や木工作品なども販売する。同園職員2人と利用者10人程度で運営。ガラス窓を大きくして室内からドッグランや田園風景を見えるようにする。

ドッグランは約300平方メートルで芝生を敷く。敷地を網で仕切り、大型犬と小型犬のスペースに分ける。利用無料。営業時間はともに午前10時～午後3時半で、週に1日休む。

同法人常務理事で同園の栗林和史施設長は「地域に開かれた施設にしたい。30年間お世話になった地域に少しでもお役に立てば」と話している。

1988年設立の同法人は同園と知的障害者のグループホームを運営する。同園利用者は南幌や札幌、釧路などからの20～80代で、入所者50人、通所者15人。